

但馬沿岸で採捕されたコウイカの1種Sepia longipesについて

メタデータ	言語: 出版者: 日本海区水産研究所 公開日: 2024-04-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 勝千代 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2002733

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



但馬沿岸で採捕されたコウイカの1種

Sepia longipes について*

伊 藤 勝 千 代

昭和35年(1960)秋の10月24日朝, 兵庫県城崎郡香住町の水産加工業小川喜一氏からコウイカの1種 *Sepia longipes* SASAKI を1尾送られた。

このイカは香住の機船底曳網漁船が10月21日~23日の3日間のいずれかの日, 美方郡浜坂町沖約10哩の底曳漁場(水深約120~125m)から, コウイカ *Soesculenta* 約15kgに混じつて漁獲されたという。

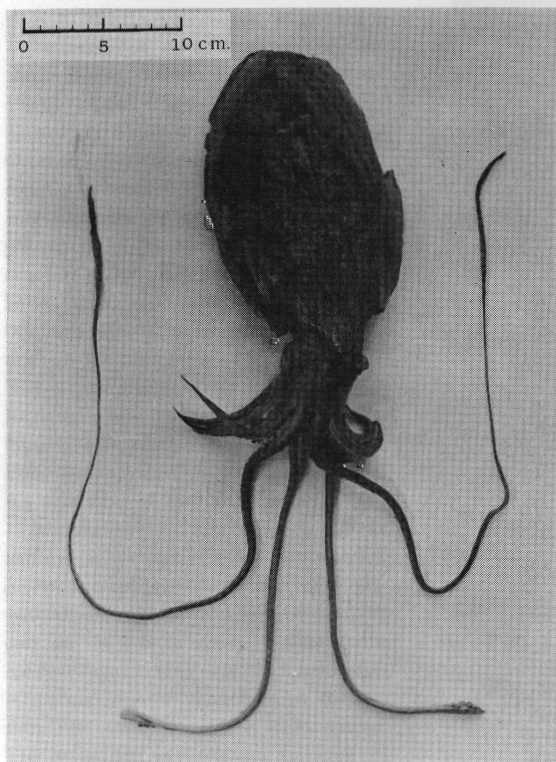
SASAKI (1929)によれば *S. longipes* は房総地方

銚子が模式産地としてあげられているが, 日本海側ではまったく不明で, 今回の標本採捕により量的にはきわめて微々たるものと思われるが, これで但馬海域近辺に来遊が確認されたわけである。

現在 *Sepia* 属は滝(1959)によれば世界で100種ほど報告されているが, 但馬海域から採捕された *Sepia* 属はコウイカ *esculenta*, カミナリイカ *subaculeata* およびハリイカ *andreae* の3種が知られている

(矢倉, 1932, 筆者〔未発表〕)ので, この *S. longipes* を加えて4種となつたわけである。

なお, ホルマリンに保存した標本の体各部測定の結果は次表のとおりである。



測定部位	測定値 (mm)	
外套背長	205	
同 腹長	173	
同 最大巾	115	
頭 巾	52	
鰓前方の外套範囲	(左) 14	(右) 12
鰓の最大巾	16	14
第1腕長	503	474
第2腕長	93	76
第3腕長	85	62
第4腕長	82	66
触腕長	310	284
腕頭長	32	32
最大腕吸盤の直径	20	
最大触腕吸盤の直径	50	

最後に標本の査定並びに種々有益な御教示を賜つた日本海区水産研究所香住支所長浜部基次氏にあつく御礼申上げる。

* KATSUCHIYO ITO: Record of occurrence of *Sepia longipes* SASAKI off Tajima District in the southern Japan Sea.

参 考 文 献

SASAKI, M. (1929). Journ. Coll. Agr. HOKKAIDO
Imp. Univ., Suppl. No. XX,

滝 巖 (1959). 頭足類硬骨 (著者自刊)

大倉和三郎 (1932). 兵庫県産貝類目録(頭足類を
含む)

伊藤勝千代 (未発表). 兵庫県但馬海岸およびその
沖合から採集された海産貝類 (頭足類を含む)